

碧水だより



—めざす子ども像—

・仲よくする子、かしこい子、たくましく生きる子

平成18年10月31日 第 6 号
阿蘇市立碧水小学校 羽 山

11月行事予定表

日	曜	校 内 の 行 事	給 食
1	水	避難訓練 くまもと教育の日	○
2	木	校内研修	○
3	金	文化の日 郡市学童駅伝大会	×
4	土	阿蘇市図書館祭り スペシャルリンクス～5日	×
5	日		×
6	月		○
7	火	生活集会 クラブ	○
8	水	校内研修	○
9	木	教育フォーラム阿蘇	○
10	金		○
11	土	児童館祭り 阿蘇市学校保健会講演会	×
12	日		×
13	月	就学時検診	○
14	火	縦割り班活動	○
15	水	職員会議	○
16	木		○
17	金		○
18	土	県ミニバスケットボール大会	×
19	日	「くまもと教育の日」県民フォーラム	×
20	月		○
21	火	A L T P T A 家庭教育講演会(7:30～)	○
22	水	校内研修	○
23	木	勤労感謝の日 阿蘇市子ども芸術祭	×
24	金		○
25	土	郡市サッカー大会～26日	×
26	日	阿蘇市PTA連合会講演会	×
27	月	阿蘇市教育研究会先進地視察研修	○
28	火	校内研修	○
29	水	市人権同和教育授業研究会	○
30	木	「創造!生きる力」実践発表会(県劇)	○

12月の予定 3日碧水フェスタ 14日授業参観・学級懇談会
19日人権集会 22日終業式 23日児童館クリスマス会

いじめ根絶の取組みを!

本来、学校は、児童生徒が教師とともに夢を語り、その実現のために学び続ける場です。同時に、教師が一丸となって児童生徒を守り、その夢をはぐくむとともに、豊かな学びを保障していく場でもあります。

学校でも、今までの取組みを再点検し「いじめ」はどこでも起こり得るとの感性をもち、サインを見逃さない取組みを行っていきたいと思います。

- ① 家族の信頼感「伝えよう愛しているよのメッセージ」
- ② あいさつの習慣化「朝昼晩元気にあいさつ 習慣に」
- ③ 善悪の区別「教えよう 事の善し悪し 躰から」
- ④ 感謝の心「ありがとう」は生きゆく心の「出发点」
- ⑤ 我慢する力「肥後っ子のあすを支える がまん力」
- ⑥ 命の大切さ「自分の命 みんなの命どれもが 世界で一つだけ」
- ⑦ 食事・団らん「家族仲良く食事・団らん 心と体に栄養を」

碧水フェスタイベントを予定しています

昨年まで学習発表会として保護者の皆様に見ていただいたものを、今年から地域の方々の展示やステージ発表も含めて実施したいと考えています。

地域・保護者の方々と協力してフェスティバルを実施することにより、学校教育への理解を深めてもらい、学校と地域の一層の協力体制を構築することを目的としています。

会場は碧水小学校体育館
内容は、学級やクラブの発表、保育園や地域の団体の発表、PTA有志や学校職員の発表など
展示の部では教科や総合的な学習、生活科や写生大会等の作品など、クラブ活動の作品など児童の日常の学習の成果が現れたもの、その他写真、絵画、書道、切り絵など地域の方の作品や保育園児の作品を考えています。

学校の出入口に看板を設置しました

先日、校庭にバイクを乗り入れた痕跡があり数人でタバコをすったり空き箱に火をつけて遊んだ後がありました。

地域の方々から夜中に少年たちがたむろしていると心配される声も聞いていましたが、学校の校庭は地域の方々体力づくりの場として利用していただいていることもあり、立入禁止にするより地域の方々目で見守りを持って見ていただいていたほうが良いと考えていました。

しかし目に余る状況に阿蘇警察署に連絡し巡回を徹底していただくようお願いしました。

学校としても不審者対応と意思表示のため看板を設置することになりました。



日本火山学会の公開講座で 五年生が見事な発表をしました

十月二十二日(日)午後一時より熊本大学工学部に於いて日本火山学会の公開講座が行われ、阿蘇市から本校と宮地小学校、それに立野小学校が研究発表を行いました。

研究発表では会場に入りきれないほどたくさんの方々に来ていただく中「消えた湧水のなぞ」と題して踊山水源のことを調査研究した結果を発表しました。

碧水小学校の校名は明治三十二年に坊中、竹原尋常小学校を合併し名付けられました。碧水という名は校名にもあるように踊山神社の境内にこんこんと湧き出する見事な湧水があり、それにちなんで付けられたと言われています。



踊山神社の湧水は、『肥後国誌』には「社前清泉沸騰大渦ノ巻カ如シ」、『阿蘇郡誌』には「森の中央に一大湧泉ありて清流比なく白水の水源と相並んで二大水源の一つに数えられ、その水系の水田二百町歩を養う」とあります。(1町歩＝1ヘクタール＝100m×100m、約校庭二つ分)

しかし昭和三十年代には湧水量が減少し湧水は消滅したとされています。現在はその面影もありません。どうして湧水が消えたのか、その原因が何なのか。消滅した時期はいつなのか。そのころ発生した出来事、地震や地下水採掘などについても調べ始めました。

研究は

- ① 踊山湧水がいつ頃まで出ていたのかなど湧水に関する情報を踊山神社の近所に住むお年寄りに聞き取り調査をしました。
- ② 湧水が消えた原因を探るために、湧水の仕組みについて学習し、その原因を予想しました。
- ③ その結果、湧水が消えた原因として、次のような予想をした。

- A、雨や雪が少なく地下水の水位が下がったのではないかと。
- B、踊山の湧水が湧き出ている穴が土砂崩れなどでふさがれたのではないかと。
- C、大きな噴火や地震が起こり、地下水脈がふさがれたり、変わったりしたのではないかと。
- D、道路や森林によって草原等が覆われ、地下水がしみこみにくくなり水位が下がったのではないかと。
- E、田んぼや人口の増加、ボーリングなどで水の使用量が増え、水位が下がったのではないかと。



これらのことを調べるために、グループごとに阿蘇山測候所、土地改良区、森林組合、市役所、踊山神社近くに住むお年寄りに何度も聞き取り調査を行いました。

調査の結果、次のようなことがわかりました。

- ① 昭和三十年から四十年にかけて、踊山神社の南側斜面に大規模な植林が行われたことで地下水の水位が下がった可能性がある。
- ② 昭和二十九年から三十二年にかけて、阿蘇登山道が道路を拡張し舗装工事を行ったことで地下水の通り道がふさがれ可能性がある。
- ③ 昭和三十三年に阿蘇山では、死傷者が出る大規模な噴火と震度三の地震が起こっており、地下水の道が遮断された可能性がある。
- ④ 昭和三十年から三十五年にかけて、食料増産のために急激に水田が広げられたために、各地でボーリングが行われ、地下水の水位が下がった可能性がある。

まとめ
この結果だけで、踊山湧水が消えた原因を断定することはできないが、以上の四つの可能性が踊山湧水が消えたことの原因として考えられる。と発表しました。

PTA家庭教育講演会のお知らせ

昨今の様々な子どもが関係する事件や事故を目の当たりにし、食育や家庭教育・子育て等について我々自身ももっと学習してみようと考えました。そこで、今回は食育・家庭教育支援のための学習会を下記の日程で開催します。

御近所、おじいちゃんおばあちゃんもお誘い合わせの上ご参加下さい。

日時・十一月二十一日(火)
午後七時三十分～九時00分
場所・碧水小学校音楽室
講師は阿蘇保健所の
保健予防課長 石井孝文氏
参加費無料です

児童館まつりのお知らせ

十一月十一日(土)に役犬原児童館において開催します。時間は九時三十分から十一時三十分までです。

内容として、佐藤勝也教頭の人権トーク&ライブと「きよら亭うどん」さんによる子ども落語です。

「きよら亭うどん」さんは現在真和中学校二年生の坂本大樹さん(十四才)です。

阿蘇郡市ミニバスケットボール選手権大会で優勝

十月二十一、二十二日に碧水小学校で行われました。女子は残念ながら敗退しましたが、男子は大接戦の末に宮地小学校を破り優勝することができました。

